仕様

■ 素材

▼ フルハーネス

対象部品	素材
ストラップ	ナイロン
D環	アルミ合金
上下ハーネス連結用コネクター前面（カラビナ）	アルミ合金
上下ハーネス連結用コネクター背面（Oリング）	スチール
背面プレート	PE
パッド	穴あきEVAパッド

▼ ツインランヤード・シングルランヤード

対象部品	素材
スイベル付カラビナ	アルミ
ショックアブソーバー	ナイロン
伸縮性じゃばら式ランヤード	内側はゴム、外側はナイロン
大フック	アルミ

▼ ショックアブソーバー付き巻取式ランヤード

対象部品	素材
人体側コネクタ・構造物側フック	アルミ
巻取器	ガラス繊維強化プラスチック
ショックアブソーバー	ナイロン
帯ロープ	ダイニーマ

■ サイズ

商品番号	ウエスト（目安）	太もも（目安）	身長（目安）	本体重量
HET-S ／ S-M	58cm - 115cm	43cm - 75cm	155cm - 195cm	1,900g
HET-L ／ L-LL	70cm - 125cm	43cm - 75cm	155cm - 195cm	1,920g

⚠ 注意事項

使用方法

- 取扱説明書を確認し、安全上必要な部品が揃っているか確認し、緩みなく確実に装着すること。
- 墜落制止用器具の取付設備は、ランヤードが外れたり、抜けたりするおそれのないもので、墜落制止時の衝撃力に耐えるものであること。
- 墜落後にフック等に曲げの力が掛かることによる脱落・破損を防ぐためフック等の主軸と墜落時に掛かる力の方向が一致するよう取り付けること。
- 垂直親綱に墜落制止用器具のフック等を取り付ける場合は、親綱に取り付けたグリップ等の取付設備にフック等をかけて使用すること。
  取付設備の位置は、ランヤードとフルハーネス等を結合する環の位置より下にならないようにして使用すること。
- 水平親綱は、ランヤードとフルハーネス等を結合する環より高い位置に張り、それに墜落制止用器具のフック等を掛けて使用すること。

点検・保守・保管、耐用年数・破棄基準

- 墜落制止用器具の点検・保守及び保管は、責任者を定める等により確実に行い、管理台帳等にそれらの結果や管理上必要な事項を記録しておくこと。
- 一度でも落下時の衝撃がかかったものは使用しないこと。また、点検の結果、異常があったもの、摩耗・傷等の劣化が激しいものは使用しないこと。
- 劣悪な使用環境・鋭利な角との接触・極端な高/低温下での使用や保管・化学薬品との接触は製品を損傷させ、使用不可につながる原因となります。

お問合せ 03-5339-1717
中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト9F
FAX：03-5339-1739　MAIL：info@c-nexco-het.jp

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 検索
https://www.c-nexco-het.jp/

製造会社 株式会社TOWA 〒130-0021 東京都墨田区緑1-4-10
TEL:03-5600-9520　FAX:03-5600-9521　URL:https://www.towapro.jp

2025年2月発行

安全性・作業性の向上に

保全用フルハーネス

作業者の命を墜落・転落災害から守ります

JIS T 8165 適合製品で安心! SAFETY

■ 保全用フルハーネスとは

2019年2月1日付で安全帯の規制に関する政省令・告示が改正され、「安全帯」の名称が「墜落制止用器具」に変更となり、高さ6.75m（建設業では5m）を超える箇所ではフルハーネス型の使用が原則となりました。

保全用フルハーネスは、新規格に適合した仕様で、身体の主要部分を支持する構造のため、万一墜落した際の衝撃が身体の腿・肩・腰など複数の箇所に分散されます。従来のものと比べ、墜落時に与える衝撃が少ないため、身体にかかる負担を軽減します。

JISによる試験の様子

JIS　T8165：2018「墜落制止用器具」規格に適合した仕様となっています。

保全用フルハーネスの特長

01 背部と胸部から墜落制止をとれる

背部はもちろん、胸部にもD環を設定したことで、作業によって使い分けができるようになりました。

02 墜落時の衝撃を軽減する構造

肩・腰・腿の主要部分を支持する構造で、墜落時の衝撃を分散します。
さらにパットを配置しているため、身体への負担を軽減します。

03 安全への細かなこだわり

オーバルオートロック採用のカラビナや、ギアループの配置、軽量でコンパクトな伸縮タイプのランヤードなど、安心・安全・快適のために、細部にまでこだわりました。

特長

01 背部と胸部から墜落制止をとれる

背部と胸部から墜落制止をとることができ、作業によって使い分けが可能

業務や用途に合わせて、様々な作業姿勢をとることが可能となり、作業性が向上しました。
さらに、腰の左右と腹部にワークポジショニング用のD環が備えられているため、通常作業はもちろん、ロープアクセスやのり面など幅広い作業に対応が可能です。

より楽で安全な墜落姿勢

胸部のD環から墜落制止をとった場合、背中・腰・腿の3点に体重が分散され、背部のD環から墜落制止をとった場合と比較して、より楽で安全な姿勢をとることができます。

02 墜落時の衝撃を軽減する構造

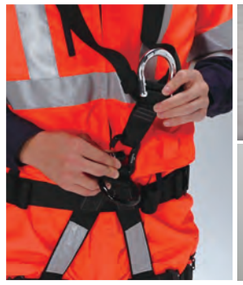
肩・腰・腿の主要部分を支持する構造

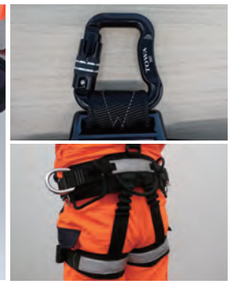
日本人の体型に合わせた設計で、肩・腰・腿の主要部分を支持、墜落時の衝撃を分散する構造となっています。
チェスト部は両引きタイプでサイズ調整がしやすく、首回りの快適さも向上しました。

厚みのあるパットを配置した幅広構造により、クッション性やフィット感がアップ

通気性のよい穴あきパットを肩から背中・腰・腿まで複数箇所に配置しております。クッション性やフィット感がアップし、墜落時にかかる荷重を分散することができます。

03 安全への細かなこだわり





オーバルオートロック採用のカラビナ・ギアループの配置

- チェストハーネスとシットハーネスをつなぐD環に、開閉後に自動でロックをかけてくれるオーバルオートロックを採用。
- 腰部にギアループを採用し、安全に多くのツールを携帯することが可能。
- 反射材を配置し、視認性を向上。

現場状況に応じて最適なものをお使いいただけるように様々な仕様のオプションをご用意しています

ツインランヤード

最大長：170cm
最大自由落下距離：230cm
落下距離：440cm
本体重量：1,105g
耐荷重：130kg

シングルランヤード

最大長：150cm
最大自由落下距離：210cm
落下距離：410cm
本体重量：730g
耐荷重：130kg

ショックアブソーバー付き巻取式ランヤード

最大長：170cm
最大自由落下距離：230 ㎝
落下距離：300~400cm
本体重量：1,080g
耐荷重：130 kg

ワークポジショニング用ロープ

長さ：210cm
本体重量：1,285g

※耐荷重を増やしつつ軽量化に成功しました！

各部名称・活用シーン

活用シーン